

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	小牧山文化事業					担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	文化振興課				
	事業期間	平成17年度		～	平成30年度以降		担当係	文化振興係				
	総合計画 分野別計 画	主目的	4	教育文化	20	文化・芸術	2	市の特色を活かした事業を展開する				
		副目的	20-4									
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	11	
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営				地域住民組織		<input type="radio"/> 一部又は全部委託				
				指定管理・外郭団体		名称:						
				NPO・その他		名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	小牧山整備完成と市制50周年を記念して実施した薪能を継続的に開催することにより、史跡小牧山を広く市内外にPRするとともに、伝統芸能の素晴らしさや楽しみ方を市民に学んでいただくことにより、小牧のシンボルである小牧山を文化の発信拠点とする。											
内容 (手段)	<p>能楽協会名古屋支部の出演による薪能の実施。伝統芸能をより楽しんでいただくための展示・体験コーナーを設置。市内謡曲連盟の出演など、屋外イベントとして気楽に能を楽しむ機会を提供。</p> <p>職員は①能楽協会名古屋支部との演目・出演者調整を行い、プログラム・番組表を作成。</p> <p>②事前PR活動を行う。③舞台・客席の設営手配を行う。</p> <p>④出演者等の手配、協力ボランティアへの依頼等、タイムスケジュール管理を行う。</p> <p>⑤実行委員会を開催し、イベントとしての市民参画を促進する。⑥事務局としての庶務事務を行う。</p> <p>平成22年度 9月18日 史跡小牧山 5,500人の観客 観世流「鞍馬天狗」で公募の小学1年～4年までの児童22人参加 お月見まつり(商工課)、ランドマークフェスタ2010(商工会議所)と同時開催</p>											
受益者負担	無	内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
コスト	直接経費		千円	7,998	7,982	8,000
	正職員	従事者数	人	0.25	0.25	0.25
		人件費	千円	1,341	1,341	1,341
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.10	0.10
		人件費	千円	0	50	50
	費用合計		千円	9,339	9,373	9,391
	対前年比		%		100.3	
財源	一般財源		千円	9,339	9,373	9,391
	国・県支出金		千円	0	0	0
	その他財源		千円	0	0	0

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23
		公演回数	回	目標	1	1	1
				実績	1	1	
				目標			
				実績			
				目標			
	実績						
	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
		来場者数	人	目標	4,500	5,000	5,500
				実績	5,000	5,500	
			目標				
			実績				

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	子どもの参加演目もあり、来場者も多く好評であり史跡小牧山を広くPRでき、伝統芸能のよさを伝えることができた。				
	事業を廃止・休止したときの影響	市制50周年記念として平成17年度から開始した薪能を継続的に開催することは、伝統芸能への理解を深める手段として小牧ではかかせないものとなっており、廃止をすればこれらの機能が果たせなくなると考える。				
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)			
	判定理由	毎年継続事業として定着しており、市民にも好評を得ていることから、内容に変化を持たせるなど充実させ実施したい。				
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	目と耳で初心者向けのわかりやすい解説をするなど、市民が伝統芸能への関心をさらに深められるよう工夫していく。 また、引き続きお月見まつりなどと同時開催し、商工会議所や担当部署と連携しながら、小牧の文化を盛り上げていく。				

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)			
	判定理由	一次評価のとおり				